

# NICE

Numazu association for International Communications & Exchanges

## Vol.67

発行日 2008年9月30日

発行者 NICE沼津国際交流協会  
(企画広報部会)

所在地 沼津市御幸町16番1号

(事務局) 沼津市役所地域づくり推進課国際交流室内

☎055-934-4717



# 熱い! 暑い! 国際交流!

## カラマズー部会

# 祝 姉妹都市提携45周年2008

7月21日午後6時、強い日差しの中、カラマズー協会会長ボブ・マリンガーさん、事務局のバーバラさんをはじめ協会会員、ホストファミリーの皆さんが市民訪問団9名、市立高校生10名引率教師2名の総勢21名を今かいまかと市役所前で待ち受けていました。今年は姉妹都市提携45周年記念。特別企画マッキナック島1泊2日の旅行が生まれ大変楽しいカラマズー訪問となりました。連日好天に恵まれ、ステイ先に戻ると花や木に水をあげるのが日課でした。豊かな街、カラマズー市での8泊10日のホームステイプログラムを通してカラマズー市の皆さんの、思いやりと温かさを感じました。そして双方の諸先輩の方々が築き上げた45年の交流の歴史がここにあることを確信しました。これからも人と人との出会いから生まれる心の豊かさを大切にして交流の輪が広がることを願いました。



## カラマズー、沼津市民訪問団報告書

沼津市民訪問団説明会が6月1日19:00 沼津市民文化センターで沼津市民11名、市立高校団12名が参加して、訪問日程、自己紹介、ホームステイ中の諸注意、心構えを受けそれぞれの思いを胸に出発に備えました。

**7月21日：** いよいよ出発の日です。沼津駅北口ロータリーに集まったのは市民9名、市立高校団12名の21名で沼津から貸切バスで成田第1ターミナルに出発しました。私たちが利用するノースウエスト航空はチェックインがセルフサービスになっていましたが全員難なくこなし、各自入国審査を受け、出発ロビーにて再集合となりました。

11時間の長いフライトにも疲れを見せずデトロイトに到着した訪問団は、空港からカラマズーまで2時間のバスでの移動の後、夕刻18:30に予定通りカラマズー市役所前に到着しました。出迎えは協会関係者、ホストファミリーの方々の歓迎を受け初めての方、再会の方、それぞれの出会いがありました。この後ホストファミリーごとの記念写真を撮り帰宅しました。

**22日：** 早朝、日の出前にカラマズーより今回のハイライトである歴史的要塞のマッキナック島観光に、訪問団、ホストファミリー、協会関係者で出発しました。マッキナック島までは片道400km、5時間掛けてのドライブです。島はフランス、イギリスがここを拠点にインディアンと戦い、入植を進めた歴史ある島で、アメリカの人たちにとっては貴重な場所になり、観光地として現在は多くの市民が訪れ賑わっていました。



**23日：** マッキノー市にあるカラマズー副市長のハンナ・マッキーニさんのお宅を訪問してマッキナック島やマッキナック橋が見渡せる眺望の良い庭で昼食を取り交流をしました。



**24日：** カラマズー市内でガラス工芸の指導者をしているクリス・ルーシーさんの工房を訪ね、ガラス工芸の歴史技法の話聞き、記念品となるペンダントやプレートを参加者が各自制作しました。

**25日：** カラマズー市に本社がある医療器具、医療機器のメーカー、ストライカー社を訪ね、工場見学をしました。工場では世界最先端技術による医療器具の製作現場を見せて頂き、工場内ではシークレット部門もあり写真撮影は禁止されていました。

**26日：** 26日、27日は各自ホストファミリーとの自由時間となりホストファミリーによるプログラムで事前にメール等で約束した人、当日予定を決めた人など思い思いの2日間を過ごせたと思います。

**27日：** 夕刻カラマズー、沼津姉妹都市友好45周年を祝いカラマズー市の西の丘にある古城を思わせるヘンダーソンキャッスルにおいて、ポットラックディナーをし、その後、外庭で式典を行いました。

式典では、カラマズー市長さんのお祝いの言葉、両国際交流協会の方による記念品の交換、次年度カラマズー市民の沼津訪問などが報告され、和やかな中にお開きになりました。

**28日：** カラマズー郵便局の見学をした後、夕刻カラマズー球場にて地元マイナーリーグのカラマズーキングスの応援をしました。結果は8対1の成績で負けましたが、選手、運営関係者、観客が一体となった野球は、アメリカのベースボールの楽しみ方を感じました。

**29日：** 全日程を怪我、病人もなく無事過ごした市民訪問団は、全員元気にカラマズー協会関係者、ホストファミリーの見送りを受け、次回沼津での再開を誓い、カラマズーを出発してデトロイトに向かいました。デトロイトからはノースウエスト25便にて成田、送迎バスで沼津に、全員元気に訪問を終えました。



今回の訪問は、カラマズー、沼津両協会関係者の多大なる協力により、姉妹都市友好の事業が滞りなく行われたことをここに報告致します。

平成20年7月30日

鈴木正之

#### ふれあい部会よりお知らせ

### 国際交流フェア近づく

今年は学習院沼津遊泳場に於いて11月16日(日)に在住外国人の皆さんが、お国の民族舞踊、衣装、料理等の紹介をします。また日本文化の体験や紹介もあります。世界の文化を肌で感じて、楽しいひと時を過ごしませんか？

## 国際理解教育部会

# トルコのお国紹介講座を終えて

7月13日(日)、市立図書館視聴覚ホールにおいて、トルコのお国紹介講座が開催されました。講師はトルコ出身の小宮山ハミエットさん、ヤスミン植月千春さんでした。

ハミエットさんは1980年来日され、現在は裾野市にお住まいです。各種の講演会の講師、イベントパネリストとして活躍されており、トルコ語講師としても精力的に活動されています。

ヤスミンさんは東京在住で、ラウンジピアノプレーヤーとして活躍中に、青山のトルコ料理店に置いてあったカーヌーンという楽器の美しさに魅せられ独学で奏法を研究し始め、その後トルコ、チュニジアで奏法とアラブ音楽理論を学ばれました。現在は、カーヌーン演奏者として活躍されており、今回はご主人といらしてくださいました。



第1部はヤスミンさんの演奏です。彼女の清楚で凛とした人柄を表す演奏と共に「ウスキュダラ」の美しい歌

声が会場に響き渡ると、参加者たちは異国の地へと誘われていきました。中近東の民族楽器であるカーヌーンは、ハープのような弦楽器を膝の上に置き、指に爪をはめて弾くお琴に似た感じの楽器です。彼女の厚意で演奏の終わりに日本の誇る箏曲「春の海」が演奏されると、会場は興奮と感動に包まれました。

第2部はハミエットさんがお持ち下さったトルコの国旗、装飾品、ブッサのシルクスカーフ etcの説明と彼女が今年6月中旬に旅行したトルコのホットポートの紹介です。美しい民族衣装に身を包んだ彼女の「メルハバ」(こんにちは)という挨拶で始まりました。

トルコの首都はアンカラですが、日本人にはイスタンブールの方が馴染みがあり、人口7千万人のうち1千万人が住んでいるそうです。6歳から8年間で義務教育で、その後高校3年(専

門学校)、そして大学へ進学するシステムになっています。日本との違いは学力不足の生徒には何度も落第が生じるため、同学年同年齢とは限らないということです。

彼女の品のある日本語に参加者は聞き入り、色鮮やかなトルコ文化を満喫し瞬く間に時間が過ぎてしまいました。

第3部は、ハミエットさんの民族舞踊です。舞踏衣装に着替え、「チフテッリ」というベリーダンスをセ



クシーにしながら踊って下さいました。フィナーレは参加者のご婦人、小学生、スタッフも参加して、まさに国際交流のダンスとなりました。

今回の参加者は135名でその中にはご主人がトルコ出身のご家族の姿もありました。お子様連れでいらしてこの講座が取り持つ縁で親交を深めている光景も見受けられました。

トルコの方は一般的に親日的で、日本文化に対する関心も非常に高いと聞いております。この講座を通して、私たちもトルコ文化に触れることができトルコに対する理解が深まったのではないのでしょうか。

ヤスミンさんの柔らかな演奏と歌声、ハミエットさんの分かり易いお国紹介は参加者の皆さんにとって、いつまでも心に残るひとときだったのではないかと思います。





## 四季彩々に参加

7月26日毎年恒例になっている沼津の夏祭りに今年も賑やかに参加しました。4回の練習日は会場があふれるほどの出席でした。外国の人々、子供と一緒に若いお母さん、元気印の高校生も加わって41人、途中からの飛び入りも歓迎で、さんさん通りを往復しました。伴奏がとまったり、踊りもとまったりと少々のアクシデントは物ともせず楽しみ、ご苦労さん会も盛り上がり元気に終了しました。

3人の高校生より感想を頂きました。

### ●沼津四季彩々踊りに参加して 高橋みさき

私は国際交流に興味があったので、参加募集案内を見てすぐに参加しようと思いました。練習は週に1回、全部で4回ぐらいあって、少し大変だなと最初は思いました。しかし実際に参加してみると、踊りはそれほど難しくなくて1回か2回くらい行けば覚えられそうでした。

様々な年齢の人がいたり中国の人がいたりコロンビアの人がいたりで本当にいろんな人が参加していました。しかしみんなで円になって練習しているうちにすぐ打ち解けられて、一緒に楽しむことができたと思います。踊りがちゃんとできた時はみんなで拍手をして喜び合いました。また教えてくれた先生達はとても優しくて明るい方ばかりでした。たまに先生が間違えるのもまたおかしくて、それも練習の魅力の一つだったと思います。

休憩中にお菓子を食べながら中国語とスペイン語を教してもらったり、本番の衣装選びの時に着たことのないような民族衣装を着たりと忘れられない充実したものとなりました。

高校最後の年に友達と一緒にすばらしい経験ができて本当に良かったと思います。

機会があればまたぜひ参加したいです。

### ●四季彩々踊りに参加して 小谷田洋子

「間違えてもいいからとにかく楽しく踊ろう！」と先生に言われ、本番はとてもしラックスして楽しく踊ることができました。

国際交流協会のチームでは日本人に加え、中国やコロンビア、インドネシアからの外国の人たちがたくさん参加してくれました。そんな外国人の人たちにも劣らず、日本のみんなは日本人だと分からないくらいのエジプトやハワイな

どいろいろな国の服装をして、とてもにぎやかで、まさに国際交流！という感じでした。

先生がたまに間違えたり、他のチームと比べるとあまりそろっていなかったりと、踊りは完璧ではありませんでしたが、踊っている間は笑いが絶えず、本当に楽しかったです。祭りに来ていた人たちも興味をもってわざわざ立ちどまって見てくれて、とてもうれしかったです。踊りのあとはみんなと食事をしてさらに交流を深めました。

年齢も国籍も関係なく、多くの人とふれ合うことができ、本当にほんとうに楽しかったです。

### ●国際交流協会の行事に参加して 渡辺 真衣

私は今回、初めて国際交流協会の行事に参加しました。きっかけは、学校に掲示してあった参加者募集の張り紙でした。夏休みが始まる前にそれを見つけ友達を誘いました。皆、国際交流に興味があったので本番までの練習を通じて色々な人と関わることがとても嬉しく、楽しみでした。

私の家の近くには工場があり、そこでは外国の方が多く働いていて、仕事が終わると毎日家の前を通ります。いつも皆で歌を歌ったりしてすごく楽しそうです。私は外国の言葉や文化についてとても興味があるので、その人達と話が出来たらいいなと思っていたのですが、なかなかそんな勇氣もありませんでした。だから今回の国際交流の行事に参加出来たことは、私にとって自分の視野を広げるという点でも本当に良い機会だったと思っています。それに多くの友達が出来ました。外国人だけでなくもちろん日本人も、それが国際交流協会最高！って思った一番の理由です。

今までも日本で働く外国の人が多くは知っていましたが、どこか他人事で関わりあうことはありませんでした。何かしたくてもどうしたらいいのか解からない、勇氣が出ない。そんな私のような日本人はたくさんいるでしょう、でも何も迷うことはないんです！ただ国際交流協会に電話するだけで、日本を含む世界のあらゆる場所の人と友達になれるんです。そして友達になることが国際交流で一番大切なことだと私は思っています。

**岳陽部会**

# 各講座活動報告

前期中国語講座、太極拳教室に参加された方々に感想をお願いしました。

**入門クラス受講生 多田 隆**

先年、浙江省を旅し、日本文化の源を知りました。

古詩に、「海内在知、天涯此隣」とありますが、隣に居ても天涯のごとくでした。今年は特に両国の主脳の往来が多く、8月のオリンピックが終わると又一段と種々の交流が盛んになることは必然でしょう。

ヨシ！ 努力、 加油！

習うと思うから大変が先になる、慣れること、参加することを目標にと始めたのですが…それにしても拼音の難さ…記憶の衰え、耳の遠さ…前期は終わるものの、後は如何になることか。

別 笑 呀 ！ 爷 爷


**初級クラス受講生 甲斐 紀雄**

毎週水曜日、仕事で欠席した時以外は、大変楽しく勉強させていただきました。

中国語はまだまだ入り口に辿り着いたところですが、漢字が類似していることもあり、知れば知るほど中国語と中国に興味を持つようになりました。会話が出来るようなレベルに到達し、中国旅行に行きたいと思っております。工夫をしてくださった熊谷先生、お世話をいただいた事務局の方々、ありがとうございました。

**中級クラス受講生 高橋 保雄**

7年前に中国語に興味を持ち入門クラスを受講しました。そのときは中国語の難しさを知っただけでした。その後仕事上で中国と関わるようになり、実際に上海に暫く駐在し現地での生活を経験して帰国しました。そこで語学力のなさを認識しましたので、改めて今回受講してみ

ました。少しは慣れているからと思い、中級を受講してみました。甘かったと反省しています。クラスの仲間は若い人から、年配者まで幅広く皆中国が好きで授業は和気あいあいと楽しく受けることが出来ました。中にはレベルの高い人もいて感心しました。

先生は話すこと、聞き取ることを中心に進めてくれ、各個人レベルに合わせ、その時々に応じた話題で会話をしてもらい良かったです。最初は解からなかったことも、少しずつだが聞き取れる様になり、楽しく勉強することが出来ました。これからも機会をとらえ中国語の勉強を続け、何時か本当に話せるようになればと思います。関係者の方々にお礼申し上げます。


**太極拳教室に参加して 和田 喜美枝**

以前から太極拳に関心が有り、「広報ぬまづ」で沼津国際交流協会が太極拳の入門を募集している事を知り、即応募しました。

8式を習う事に…この8式、たかが8式、されど8式！僅か4回のレッスンでは大体の動きしかマスター（？）出来ず、何だか消化不良の感がありこの上はもう少しこの8式を極め、その上の24式にまで進みたいと、願いも新たにしたのであります。

中国の公園で、お年寄り達が三々五々集まってきては、そこかしこでゆったりと太極拳をされている様は、本当に優雅に見えます。本場の人のようにはいかないにしろ、一生懸命先生に倣って、その動きに近づきたいものです。

太極拳はそのゆっくりとした動きによって、全身の筋肉が鍛えられ、腹式呼吸によって体が整えられるようで、良い事尽くめの効果があるそうです。4回のレッスンで顔なじみになり、親しくお話出来る人も増え、私の世界も広がりました。